

## 地域の人手不足(外国人材)の状況把握に関するアンケート調査

平成 31 年度 4 月より施行される新たな外国人材受入れ制度の開始にあたり、「宿泊分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用方針ならびに運用要領」により、国土交通省は、宿泊分野の特定技能所属機関(受入れを行う宿泊施設)、業界団体その他の関係者により構成される「宿泊分野における外国人材受入協議会(仮称)」を設置することとなっていますが、この「協議会」では、1号特定技能外国人の受入れに係る状況の全体的な把握や地域別の人手不足の状況等を把握することとされております。

ついては、「協議会」が発足する前にこれらの状況について概括的に把握いたしたく、下記の内容について各地域の宿泊事業者の皆様にご協力をお願いいたします。

なお、今後、新制度に基づく外国人材受け入れを行うためには、本「協議会」に加わっていただくことが必要条件とされており、また、協議会参加者は、協議会運営に協力を行うことが義務付けられています。このような点も踏まえて、「特定技能1号」の在留資格での外国人材受入れを検討されている宿泊事業者の皆様には特段のご協力をお願いいたします。

都道府県 \_\_\_\_\_

施設名 \_\_\_\_\_

1. 労働需給の状況についての現状および取組みについて回答願います。

(1) 平成 29 年度期首時点、30 年度期首時点の求人数、応募数について

※ 回答例: 29 年度 求人数 ○○人 応募数 ○○人

回答 ( )

(2) 平成 29 年度期首時点、30 年度期首時点の従業員数(役員、非正規職員等も含む)

※ 回答例: 29 年度 ○○人(役員 ○○人、正規職員 ○○人、非正規職員 ○○人)

30 年度 ○○人(役員 ○○人、正規職員 ○○人、非正規職員 ○○人)

回答 ( )

( )

(3) 労働力に関する不足感について以下から選択して下さい。

回答 1. すでに不足していると感じている

2. 将来的に不足すると感じている

3. 不足するとは感じていない

(4) 外国人材の雇用の有無及び、在留資格の種別、国籍、人数について

※ 29 年度期首時点での回答を願います。

回答例: 有り 技能実習生 中国 8人、留学生 ベトナム 3人

回答 ( )

(5) 外国人材に関する今後(5年以内)の受入れ意向の有無及び、国籍、人数について

回答例: 有り 中国 10人、ベトナム 5人、タイ 3人

回答 ( )

2. 生産性向上についての現状および取組みについて回答願います

(1) 平成 29 年度における付加価値

※ 付加価値の算出方法については以下の方法で算出を願います  
(売上－費用総額＋給与総額＋租税公課)

回答 ( )

(2) 生産性向上の取組み実施状況について以下の選択肢から回答願います

回答 1. マルチタスク化の導入  
2. 作業の改善・標準化  
3. IT化・機械化  
4. 5S3定  
5. その他(実施している具体的な取組み内容があれば下記に記載下さい)  
( )

3. 国内人材確保についての現状および取組みについて回答願います。

(1) 国内人材確保の取組み実施状況について

① 給与水準の引き上げについて

回答 1. 実施中 2. 検討中 3. 未検討

※ 上記1もしくは2の回答をされた方は下記に具体的な取組み内容を記載下さい  
( )

② 休暇制度の拡充について

回答 1. 実施中 2. 検討中 3. 未検討

※ 上記1もしくは2の回答をされた方は下記に具体的な取組み内容を記載下さい  
( )

③ 定年延長等の高齢者雇用促進策の実施状況について以下から選択して下さい。

回答 1. 実施中 2. 検討中 3. 未検討

※ 上記1もしくは2の回答をされた方は下記に具体的な取組み内容を記載下さい  
( )

④ シフト配慮等の女性雇用の促進策の実施状況について以下から選択して下さい。

回答 1. 実施中 2. 検討中 3. 未検討

※ 上記1もしくは2の回答をされた方は下記に具体的な取組み内容を記載下さい  
( )

⑤ その他(上記①～④以外で取り組んでいる施策があれば記載下さい)

回答 1. 実施中 2. 検討中 3. 未検討

※ 上記1もしくは2の回答をされた方は下記に具体的な取組み内容を記載下さい  
( )